

島原中心市街地 街づくり推進協議会

まちの暮らしは
みんなでつくる

30周年記念誌

2022年10月 島原中央公園にて
街づくり夜なべ談義
ちょっと寒かったなあ……



since
1994



2012年2月 平戸視察
車を一方通行にしたら、
歩行空間が広がるね……

おかげさまで30年

- 『島原中心市街地街づくり推進協議会』は30年前、雲仙普賢岳災害を機に「島原の街づくり」を考えよう！と結成されました。
- 毎年、テーマごとの研究会活動、先進地視察や街づくり講演会を実施。様々な取り組みを続けています。
- 歴史的街並みや街なかの湧水を活かしたコンパクトな街を目指しています。
- 今回、30年の歴史を振り返ります。

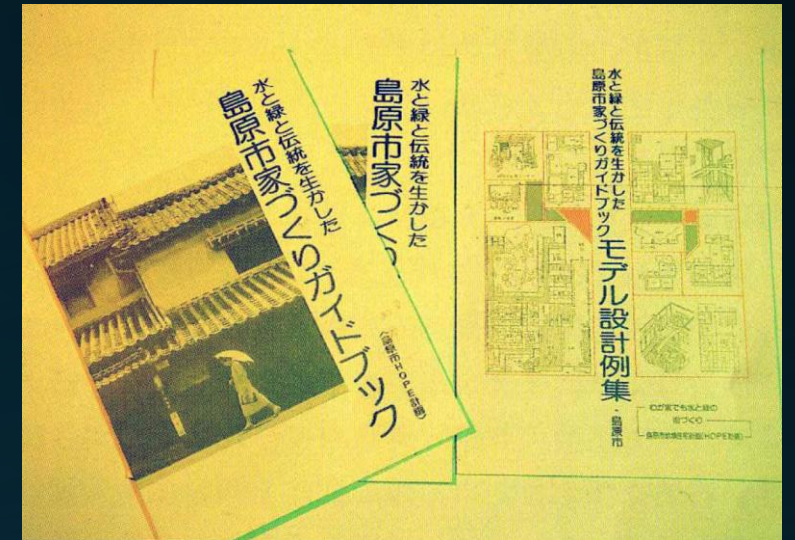
噴火前、希望の種は蒔かれていた

1984（昭和59）年 島原市は『HOPE計画』を立てて、島原らしい街づくりを考え始めました。

毎年、少しずつ、歴史的な街並みに調和した建物を『まち並景観賞』で顕彰しました。

1985（昭和60）年 島原市は『名水百選』に選ばれ、『湧水と歴史的な街並み』は島原のキーワードになりました。

今考えれば、災害復興がコンクリート一辺倒にならず、「街づくり」に希望を見出したのは先人たちの先見の明だったと言えるでしょう。



雲仙普賢岳噴火災害 噴火なんかに負けるものか！



1991（平成3）年
雲仙普賢岳噴火は島原に多くの被害を与えました。

200年前の島原大変肥後迷惑の
再来とはならず、
『眉山』は街を守る盾となりました。

若者たちは危機感をもって立ち上がりました。

島原中心市街地街づくり 推進協議会の誕生

1994（平成6）年

立ち上がった若者たちも、既存の各種団体も、行政も一丸となって噴火災害後の島原を何とかしようと行動を始めました。

名前は固いですが、『島原中心市街地街づくり推進協議会』は、その名のとおり「中心市街地の街づくり」を推進する連合体として商店街を中心に誕生しました。

テーマ別の研究会では、活発に議論があり、街の将来が語られました。

【発足時の研究会】

- ◆水頭通り研究会
- ◆中央公園研究会
- ◆（国光屋跡）核施設研究会
- ◆鯉の泳ぐまち地区研究会
- ◆森岳地区街づくり協定研究会

【現在の研究会】

- ◆森岳街づくり研究会
- ◆中央地区活性化研究会
- ◆鯉の泳ぐまち地区研究会
- ◆文化財登録研究会
- ◆アーケード魅力保存研究会
- ◆エシカル・フェアトレード研究会

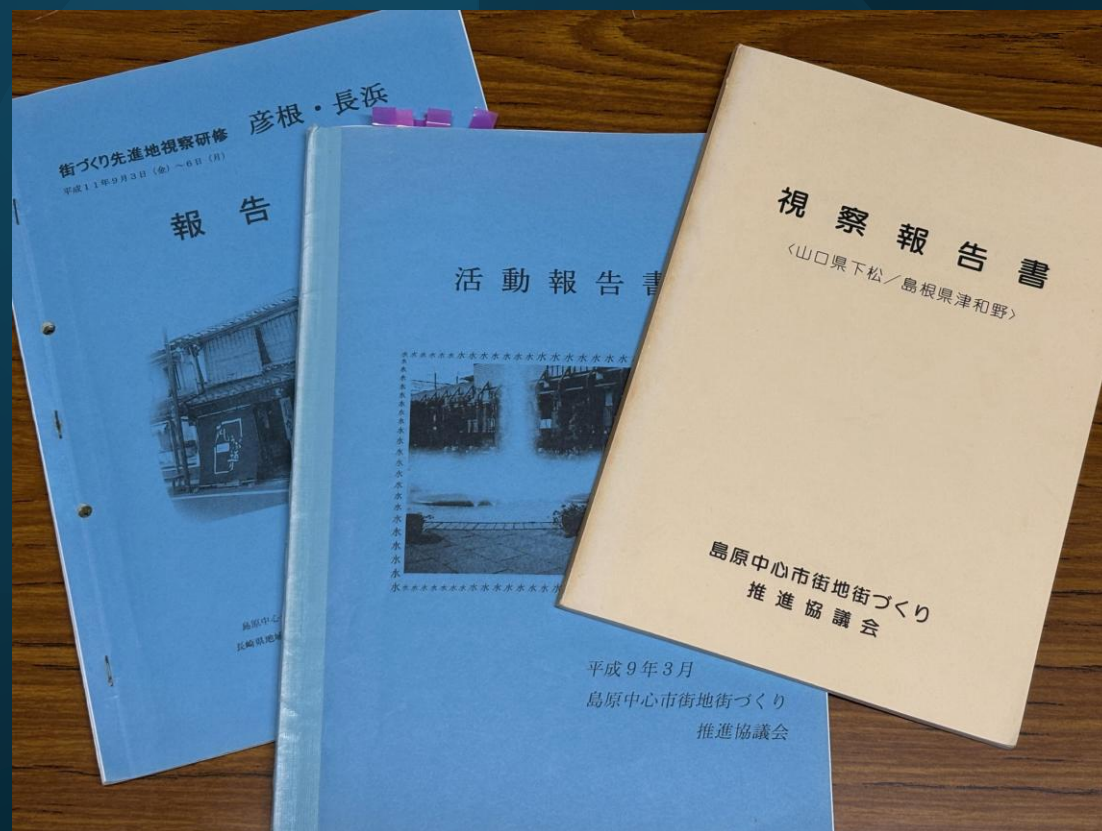
地道な活動 先進地視察や講演会

協議会活動の二本柱は、今も先進地視察と講演会です。

先進地には、あくまで島原の参考になる事例を選びました。参加者は進んでレポートを提出しました。

講演会も、まさに島原をどうするかを考えて講師を選定しました。

活動成果は報告書や提言書になりました。噴火前HOPE計画に携わった専門家や先人たちのアドバイスもありました。



具体的な活動

中央公園設計コンペ

1995（平成7）年

島原市は、活動を始めた協議会と共に、さっそく具体的な行動に出ました。

湧水を活かす島原の街づくりの象徴として「中央公園設計コンペ」を全国に呼び掛けました。

191件の応募作品の中から、東京の近藤一郎氏の設計が採用され、1998年度に完成しました。

近藤氏は島原応援団として、その後も、マップ作りになどに参画して頂いています。



具体的な活動

湧水マップの作成、
マップ片手に街歩き、
啓発パンフレット、提言、
そして街の掃除など。



2009年「竜馬と歩く島原」
郷土史家・松尾卓次先生の案内：浜の川湧水

印刷成果物については『資料室』参照

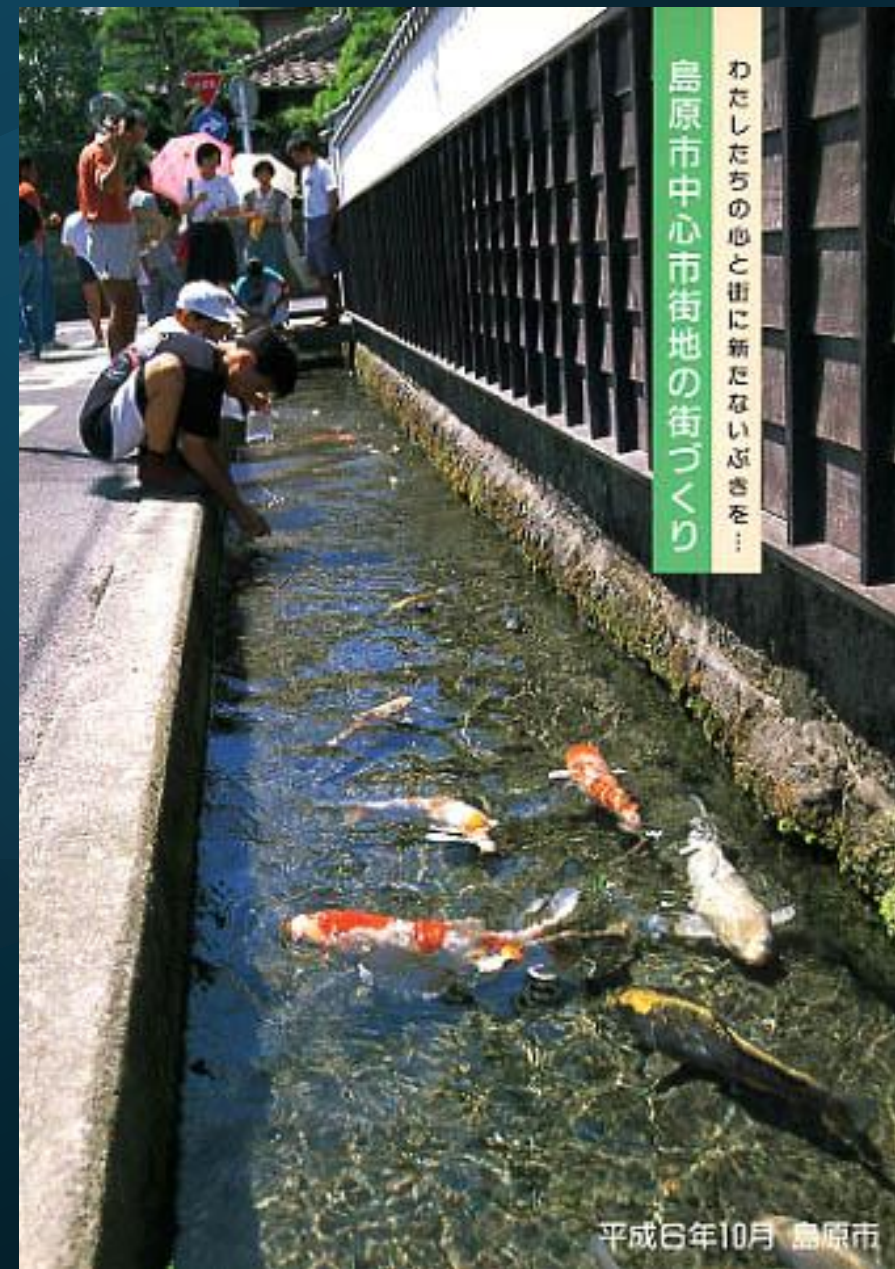
歴史的な街並みと 『湧水』を活かす

協議会は、島原の「歴史的な街並みと湧水」を再評価し、その後30年間、色んな角度から調査研究をしました。

津和野・柳川・飫肥・内子・臼杵・郡上八幡・杵築・秋月・平戸～視察研修地選びにもその視点が反映されています。視察の成果は、島原の街づくりに反映されました。

末尾の年表や協議会ホームページでも紹介していますので、ぜひご参照ください。

視察研修に参加した皆さま、ご自分の書いたレポートも再掲していますのでご確認ください。



コンパクトな街へ

2006（平成18）年ごろ、国はまちづくり3法を見直し、郊外に広がる街づくりを、街なかに誘導するようになりました。

島原は元々コンパクトな街であり、協議会の目指す方向にも一致しています。

郊外に街が広がり困っている青森の事例や、街なかの大型店と協調し成功している佐世保市の事例など、多くを学びました。

島原に郊外型大型店の出店はなく、街の空洞化を防ぐ原動力となっています。



2016年
させば四ヶ町商店街の
竹本慶三氏を招いての講演会

イオン島原店の存続

今や、大型ショッピングセンターと中心商店街は共存するのが常識になっています。

島原でも老朽化を機にイオン島原店撤退のうわさが流れ、私たち協議会は、存続に向けて研究を重ね、行動しました。

消費者・主婦らも巻き込んで、2018年には郊外進出のイオン（大野城市）などを視察調査しました。

それらの甲斐あって、2022年イオン島原店は建替えられて島原中心市街地の核として存続。現在に至っています。

その後イオンと協議会による『まちなか縁JOYフェス』は賑わいを創出しています。



2025年春。まちなか縁JOYフェス。イオン島原店再開3周年を記念して、島原出身のKAZ・RIOSUKEの音楽ユニット《ペルピンス》と古川市長による『街づくりトークショー』が開催されました。

対抗から協調へ

島原市商店街連盟
会長 鹿田信雄

イオン島原店の前身はユニード島原店として1973年にオープン。続いて、寿屋島原店が1980年にオープン。当時、大型店の進出により、特に商店街の崩壊など恐怖感が漂っており、大型店進出に対抗して、1975年に一番街アーケード、1980年にサンシャインアーケードが出来ました。

しかし1997年、ジャスコ（現イオン）有家店がオープンし、その後も郊外店が軒並みに出店するなかで、中心市街地の空洞化が進みました。そして2002年に寿屋が撤退し、そのあとをエレナ一番街店（～2012年）やスーパー・キッドが頑張ってくれましたが閉店となりました。

ユニード島原店が1994年の合併に伴いダイエー島原店となった後、2015年からはイオンが引き継ぎましたが、老朽化を理由に撤退の方針が伝えられました。

このままでは街が更に衰退すると懸念し、2016年末、推進協議会と島原市商店街連盟でイオン九州本部（福岡）へ出向き、直接イオン存続の要望書を提出しました。そのような取り組みとイオンの英断があって、イオン島原店存続へと動き出し、2022年春、新築オープンしました。

街なかの活性化は市民の願い。イオンが核として存続し街が賑わうよう期待します。協議会においては、幅広く市民の意見を聞き、明日の島原のために頑張ってもらいたい。商店街として協力を惜しまず、街なかの大型店とも協調していきます。

バリアフリーから ユニバーサルデザインへ

障がい者にとってバリアの無いデザインは、全ての
人に優しいデザイン（ユニバーサルデザイン）である
ことが分かっています。

しかし、バリアフリーの考え方は
比較的新しく、法的には、2006（平成18）年にようや
くバリアフリー法が成立したくらいです。

協議会では、早くからバリアフリーを提唱していま
すが、まだ道半ばです。障がい者や高齢者、子供など
誰もが暮らしやすい街づくりを目指しています。

島原市・普賢院火災10年復興記念事業

ながさき安全・安心まちづくりネットワーク in 島原

「来て、見て、共に感じてほしい。島原の熱き復興の鼓動を」

2000年10月28日（土）▶ 29日（日） 会場／中心市街地・島原文化会館 入場無料



■ 主催／ながさき安全・安心まちづくりネットワーク in 島原実行委員会

■ 後援／長崎県・島原市・島原市教育委員会・島原市社会福祉協議会・島原商工会議所・島原温泉観光協会
島原温泉旅館組合・島原鉄道・長崎県住宅建築総合センター・共同通信社・時事通信社・長崎新聞社
西日本新聞社・朝日新聞社・毎日新聞社・読売新聞社・日本経済新聞社・島原新聞社・しまばら通信
NHK長崎放送局・NBC・KTN・NCC・NIB・FM長崎・かほやCA-TV（順不同）

同／時／開／催

■ 第1回全国災害救援ボランティア全国大会／島原文化会館・他
■ GAMADASまちづくり住まいづくりフェア／がまだす広場駐車場

2000年：盲導犬と歩く島原

歩いて楽しく 線から面へ

私たち協議会は、2024年の視察で太宰府天満宮界隈を訪問し、現地でお話を聴きました。

西鉄太宰府駅～天満宮～九州国立博物館のサイズ感が、島原駅～島原城～鯉の泳ぐ街に近いことから観光を面に広げるヒントを探りました。



30周年に思う

島原中心市街地街づくり推進協議会
会長 松下英爾

島原中心市街地街づくり推進協議会は、平成の島原大変（雲仙・普賢岳噴火災害）の真ただ中、平成6年12月21日に発足しました。昨年12月で発足からちょうど30年を迎えたことから、「30周年記念誌」の発刊となりました。

これまで、噴火災害からの復興、少子・高齢化や人口減少が加速する中、大型店出店対応や「まちの活性化」に関する取り組みなど、協議会の歴代会長、古瀬亨氏と隈部政博氏を中心とする先達の積極果敢な活動がありました。

さらに、協議会に対しては、島原市や島原商工会議所などからのご支援のほかに、県内外の専門家など、多くの「街づくり応援団」の先生方から様々なご提言やご指導もいただきました。

本誌と、本誌を補完する当会ホームページの「資料室」を活用しながら協議会「30年の歩み」を振り返り、ヒントを見つけ、これからの「まち」の賑わいの創出と、「まち」のさらなる活性化につなげていければ、と思っています。

これまでと同様、当協議会の活動に際しまして、ご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

街づくりにエシカルの理念を

エシカル・フェアトレード研究会
峯 聡司

2022年、長崎大学（山口研究室）の学生の皆さんが島原の中心商店街のコンセプトとして、エシカル消費を推奨する「エシカル商店街」という提案をしてくださいました。エシカルという言葉を知ってもらうまで、私はエシカル消費のことを知りませんでした。エシカル消費の中心なものにフェアトレード商品を購入することがあるということも初めて知りました。

エシカルとは直訳すると「倫理的な」という意味になりますが、エシカル消費とは「人や地域社会、自然環境などの持続に配慮した消費行動」を指します。わかりやすく言い換えたら「思いやりショッピング」になると思います。

2023年、協議会では熊本市を訪れ、熊本市をアジア初のフェアトレードシティに導いた明石祥子さんの講演をお聞きしました。

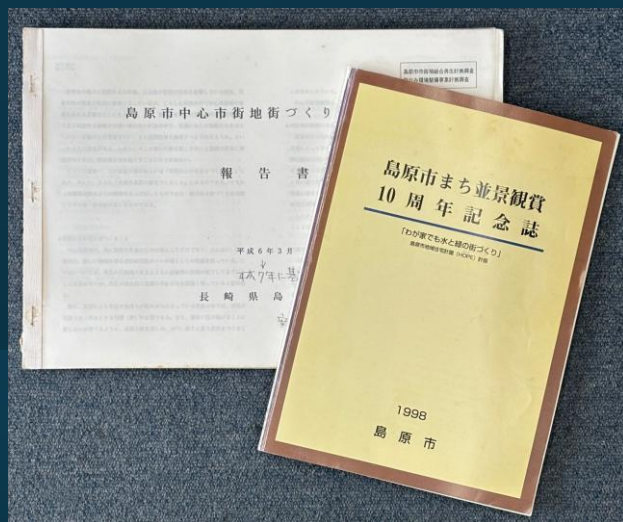
2024年、この思いやりショッピングやフェアトレードのことを研究する「エシカル・フェアトレード研究会」を立ち上げました。エシカルやフェアトレードの視点を組み込んだ、思いやりのある街づくりを考えていきたいです。みんなで「エシカルアイランド島原」を目指していきませんか。

街づくりHP 『資料室』 より

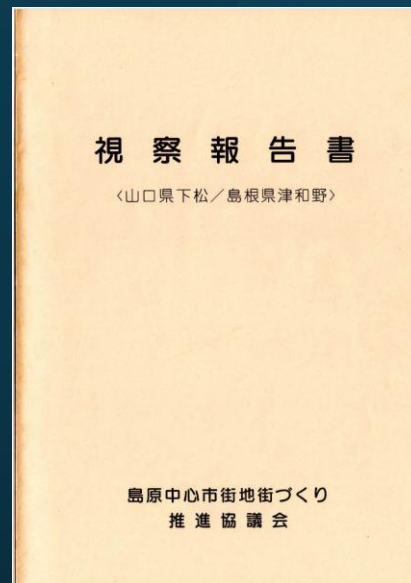
ここから
お入りください



30周年記念誌編纂にあたって、多くの資料を集めました。
全て紹介したい貴重な資料ばかりです。ホームページではすべての
資料を全ページ閲覧できます。ここではそのほんの一部ですが紹介
したいと思います。



1994年、協議会発足時の基礎資料。
先行するHOPE計画の集大成「まち
並景観賞10周年記念誌」も貴重。

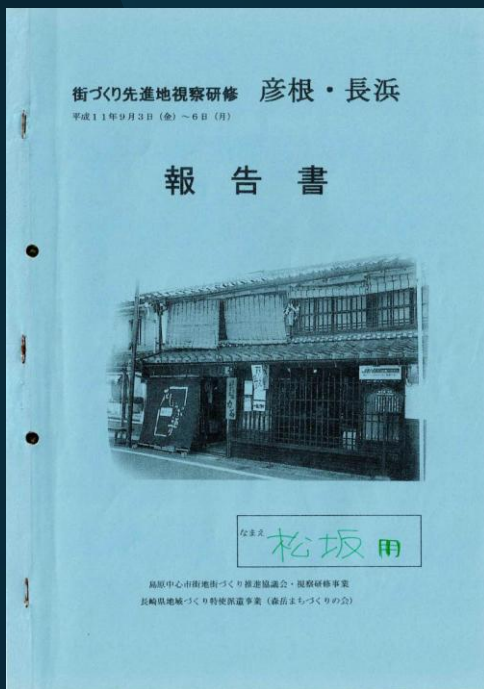


1995年、協議会発足後最初
の視察報告書。参加者の熱
い思いが伝わってきます。



近藤一郎氏の暖かみある
スケッチが「街あるき」
を楽しくします。

『資料室』より2



草創期のメンバーも熱かった。金曜に仕事を終え、月曜に仕事に戻る。寝台列車を使った1泊4日の視察強行軍は伝説になっています。



2002年（財）日本ナショナルトラストの調査報告書『島原～キリシタン弾圧の痕跡を残す町家と町なみ』は大きな話題になりました。

協議会は調査段階から積極的に協力。報告書を執筆された宮澤智士教授による講演会も実施して、その後の登録有形文化財建物保存につながっていきました。



日時
平成13年3月12日(月)～18日(日) 10:00～18:00(観覧日16:00)

会場
イリス(内蔵)三ツ子(アザラシ)美術館
〒180-0001

主催：(財)住宅保証機構
(財)長崎県住宅・建築総合センター
協力ができき安全・安心まちづくりネットワーク in 島原 実行委員会
後援：長崎県・島原市

30年史



■視察先は何処だったのか、
▲講師の先生は誰だったのか、を
たどるだけでも興味深いと思います。

1964	島原城天守閣	1964	昭和39			
1973/7	ユニード	1973	昭和48			
1974/8	島原文化会館	1974	昭和49			
1975/8	一番街アーケード	1975	昭和50			
1976/10	島二小移転後中央公園に	1976	昭和51			
1980/12	サンシャイン中央街	1980	昭和56			
1984/8	HOPE計画～	1984	昭和59			
1985/1	名水百選（環境庁）	1985	昭和60			
1986/7	島原図書館	1986	昭和61			
年月日	主な出来事	年度	活動事業（●事業■視察▲講演ほか）	年月日	備考（事務局メモ）	
1991/6/3	雲仙普賢岳災害	1991	平成3			
		1992	平成4	□森岳青年部湯布院へ	92/5/16~17	10/17第1回森岳青空文化祭
		1993	平成5	●安井事務所の調査報告	94/3/31	
		1994	平成6	●島原中心市街地街づくり推進協議会設立	94/12/21	95/2安井事務所と市内検証
1995/1/17	阪神大震災			■下松市・津和野	95/2/23~24	
1995/3/20	サリン事件			▲藤田邦昭氏：店の魅力・街の魅力	95/3/29	
		1995	平成7	●中央公園設計コンペ	95/10/28	
				▲大川陸氏夜なべ談義～水屋敷	95/10/28	
				■柳川・八女・福岡	96/2/26~27	
				●中央公園191作品から近藤一郎氏	96/3/28	
		1996	平成8	■熊本・日南（飫肥城）	96/11/19~20	11/25森まゆみ氏来島
				■愛媛県内子町（岡田文淑氏）	97/1/18~19	
				▲柳沢厚氏：街づくりの今後	97/2/8	
				▲藤原恵洋氏：市民参加まちづくり	97/3/7	
				●活動報告書発行	97/3/31	

年月日	主な出来事	年度		活動事業（●事業■視察▲講演ほか）	年月日	備考（事務局メモ）
		1997	平成9	■郡上八幡飛騨高山	98/2/7~8	97/12/31森岳街路灯点灯式
				▲西村幸夫氏講演会	98/3/9	
		1998	平成10	▲林一馬氏：歴史生かした景観	98/7/18	
1999/3	中央公園完成			△九州まちづくりシンポ	98/8/3	「水の都Ⅱ」
		1999	平成11	■彦根・長浜	99/9/3～6	
				▲大川陸氏：中心市街地のあり方	00/2/24	
		2000	平成12	●ながさき安心安全サミット	00/10/29	鮫島和夫氏ら多数
				●三沢博昭氏写真展	01/3/	
		2001	平成13	▲宮澤智士氏：島原の街並み～	01/10/26	森岳酒蔵にて
				●ナショナルトラスト調査報告	02/2	
					02/3/6~7	三重県対応～柳川広松伝氏
2003/4～	がんばスタンプ	2003	平成15	△未来塾：市川森一氏・草野仁氏	03/4/13	
2005/2～	島原城下ひなめぐり第1回	2004	平成16	■秋月・吉井	05/3/6	
		2005	平成17	●総会	05/6/17	05/10レンコン掘り第一回
2006/1/1	有明町と合併			■有田・塩田宿・浜宿	06/3/12	
				▲古民家再生と活用	06/3	
2006/8	ゆめタウン騒動三会	2006	平成18	▲藻谷浩介氏：人口成熟時代のまちづくり	06/12/12	
				▲横森豊雄氏：コンパクトなまちづくり～	07/3/15	07/3ゆめタウン頓挫
		2007	平成19	▲加藤博氏：コンパクトシティ青森	07/9/11	
				■豊後高田市昭和の町	08/2/11?	
				▲岡将男氏：鉄道はまちづくり～	08/2/22	
2008/4/1	島原鉄道南線廃止	2008	平成20			
				■熊本新町・熊本城（西英子氏）	09/3/29	
		2009	平成21	□龍馬と歩く島原（松尾卓次先生）	09/9?	
				■山鹿米米惣門ツアー	10/3/22	

年月日	主な出来事	年度		活動事業（●事業■視察▲講演ほか）	年月日	備考（事務局メモ）
		2010	平成22	●島原湧水と調和した町並み絵はがき	10/10/27	
				■白杵市・杵築市	11/2/27	
2011/3/11	東日本大震災/福島原発事故			▲三橋重昭氏しまばら湧水館	11/3/12	
		2011	平成23		11/9/26	島原さらくP新しい公共選定
				■平戸	12/2/19	
				●島原湧水さらくトレイル冊子	12/3/1	
				▲田浦元氏・菊森淳文氏	12/3/7	森岳さらくマップA4
		2012	平成24	▲東川隆太郎氏	13/2/25	
				■島原半島一周	13/3/10	森岳まっすぐマップ①
		2013	平成25	▲西英子氏（万町ホール）	13/12/14	
				■佐世保竹本氏・五番街	14/3/16	
		2014	平成26	●街の里親プロジェクト	2014春	
				◎森岳「廊下橋」再現	15/1	
				■玉名市高瀬	15/3/22	
				▲杉本哲也氏（松下塾）	15/3/24	
		2015	平成27	■阿蘇神社	16/2/16	
				▲中林昭氏（川越より）	16/3/3	
2016/4/14	熊本地震	2016	平成28	▲竹本慶三氏（佐世保）	16/9/21	
				■日南油津（木藤亮太氏）・人吉鍛冶屋	16/12/8~9	
2018/3~	新庁舎建替スタート	2017	平成29	▲中村慎次氏（堀部邸）	18/3/10	
		2018	平成30	■大野城市イオン乙金・八女市福島	18/11/19	
				▲早田文昭氏伊万里リノベーション	18/12/20	
				●街づくり提言（市ほか）	19/1/25	
				■伊万里市リノベーション	19/2/24	
				■長崎県庁・新大工・出島	19/3/7	

年月日	主な出来事	年度		活動事業（●事業■視察▲講演ほか）	年月日	備考（事務局メモ）
		2019	平成31	●近藤一郎・大塚雄二氏調査来島	2019秋	
				▲山田由香里氏：堀部邸	19/11/26	
2020/2	新型コロナ発生～			●万町湧水さらく（堀部邸マップ）	20/3/31	
2020/4/1	新庁舎落成	2020	令和2	※視察研修・講演会中止（コロナ禍）		
		2021	令和3	●総会・浜野彰氏ミニ講座	21/9/3	
				※神田雅子・近藤一郎・大塚雄二氏シンポ中止	(22/1/17)	Goto御朱印・まっすぐ②
2022/2/24	ロシア、ウクライナ侵攻			●神田氏／近藤・大塚氏の報告書	22/3	
2022/3/18	イオン島原店再開			■市内めぐりん堀部邸～銀水	22/3/13	
		2022	令和4	●まちなか縁JOYフェス	22/10/28～29	隈部会長→松下会長へ
				■▲さらく＆夜なべ談義（神田雅子氏）	22/10/28	
				▲万町談義ナショナルトラスト梅宮路子氏	22/11/18	
				■安心院ラウンドアバウト・府内城	23/1/30	
				●まちなか縁JOYフェス2／『水脈』開店	23/3/25	イオン一周年
		2023	令和5	●総会・市瀬一馬氏ミニ講座	23/7/14	10/24～26倉敷・福山
				△五條市榎野久春氏	23/11/18	11/19法要（江東寺）
				■▲熊本城他・明石祥子氏	23/12/4	
2024/1/1	能登地震			●まちなか縁JOYフェス3	2024/3/23	
		2024	令和6	●総会・ミニ座談会（植木元太郎翁）	24/6/17	
2024/10	島原城築城400年			△築城400年シンポジウム	24/10	
				■▲大宰府視察（浜野彰氏）	24/12/22	
2025/3	島原城国史跡へ			●まちなか縁JOYフェス4	25/3/20～23	
				●『30周年記念誌』	25/3/31	

30年史

※ほぼ毎年、視察と講演会は実施しています。空白年度は記録を調べ切れていないので記憶のある方は、事務局までお知らせください。

編集後記



ホームページを
ご覧ください

まちの暮らしはみんなでつくる

●30年を振り返ると、多くの先人たちの努力が分かりました。一冊の記念誌ぐらいではとても伝えきれません。

しかし、今はインターネット時代。過去の記録をPDFで記録してHPに保存しました。この記念誌は、その目次だと思ってください。

●島原城が国史跡に指定されました。島原城周りの電線地中化と遊歩道、水頭通りの整備、アーケードの維持、大手広場・中央公園の今後、具体的課題は山積していますが……

●一番大切なのはどのような街にしたいかという『まちづくり哲学』ではないでしょうか。ハード整備だけではなく、今後はハート。私たちの生き方が問われています。一緒に考えましょう！

あなたのご参加をお待ちしています。

発行日：2025年（令和7年）3月31日

発行者：島原中心市街地街づくり推進協議会

事務局：島原市上の町927-14 森岳商店街内



2023年、熊本視察。

フェアトレードシティ熊本。 熊本地震や火災で被災しても、くじけず立ち上がる明石祥子さんのお話に、熱心に耳を傾けました。